つくば市議会だより SUKUBA-28

議会をもっと知りたくなる情報紙

2月定例会議 No.186
令和７年（2025年）５月20日発行
発行：つくば市議会
編集：広報広聴委員会

会派代表質問	P 2～4
一般質問	P 4～9
委員会審査	P10
本会議審議・特別委員会	P11
議決結果	P12
賛否一覧・緊急会議	P13
特集	P14

令和７年度当初予算案 を 予算決算委員会 各分科会 で 審査 しました！

令和７年度当初予算額 1,933億7,417万円

一般会計	1,273億2,500万円
特別会計	369億5,761万円
水道事業会計	115億2,851万円
下水道事業会計	175億6,304万円

令和７年度当初予算案の主な事業

● 総務文教分科会 ●

新規 **自動運転バス実証事業** 1億4,767万円

継続 （仮称）つくば市茎崎給食レストラン整備事業 1,332万円

拡充 地域共創・MaaS（マース）実証事業（ハンズフリーチケッティング）2,500万円

拡充 不登校児童生徒支援の継続 5億1,647万円

ほか

● 福祉保健分科会 ●

新規 **若者のためのユースクリニック（からだ・こころ・性の相談）の設置** 118万円

拡充 アフタースクールモデル事業 4,359万円

継続 児童発達支援センター整備事業 2億4,380万円

継続 茎崎老人福祉センター入浴施設等リニューアル事業 1億8,046万円

ほか

● 市民経済分科会 ●

継続 **芸術文化創造拠点整備事業** 3億9,636万円

継続 （仮称）つくば市陸上競技場整備事業 4億9,209万円

拡充 脱炭素先行地域づくり事業（環境省選定事業） 16億948万円

新規 道の駅基本構想策定事業 4,655万円

ほか

● 都市建設分科会 ●

新規 **市内バス・タクシー運転士採用支援金の創設** 600万円

拡充 都市計画道路整備推進事業 8億8,443万円

継続 地域連携公共ライドシェア事業 8,640万円

拡充 緑の基本計画改定事業 880万円

ほか

つくば市議会チャンネル YouTubeで動画を配信しています

チャンネル登録お願いします

令和６年第２回定例会 会期日程

令和６年12月５日から令和７年３月27日

★令和７年１月緊急会議ハイライト

議案審議 市長提出議案１件

★令和７年２月定例会議ハイライト

会派代表質問 ４会派の代表者が施政方針を問う

一般質問 22名の議員が白熱の議論を展開

議案審議 市長提出議案58件、委員会提出議案１件、意見書案２件を審議

令和７年定例会 会期日程

令和７年４月16日から令和８年３月27日

※通年議会のため会期はおおむね１年間

６月定例会議開催予定

6月 4日（水）本会議開議
11日（水）一般質問
12日（木）一般質問
13日（金）一般質問
16日（月）一般質問・総括質疑
18日（水）予算決算（総務文教・福祉保健）・総務文教・福祉保健委員会
19日（木）予算決算（市民経済・都市建設）・市民経済・都市建設委員会
24日（火）予算決算委員会
27日（金）討論・採決・散会

〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目１番地１ Tel 029-883-1111（代表） Fax 029-868-7635 https://www.city.tsukuba.lg.jp

マチイロ つくば市議会だよりがスマートフォンで読めます

主要施策 と 当初予算

令和６年第２回定例会令和７年２月定例会議の開議日に、五十嵐市長が「令和７年度市政運営の所信と主要施策」について述べました。

詳細はこちら ▶
市政運営の所信と主要施策の概要

令和７年度の主要施策

1 徹底した行政改革
- ▶地域共創・MaaS（マース）実証事業（ハンズフリーチケッティング）
- ▶インターネット投票事業
- ▶情報格差解消促進事業
- ▶行政窓口のデジタル化　など

2 安心の子育て・教育
- ▶アフタースクールモデル事業
- ▶若者のためのユースクリニック（からだ・こころ・性の相談）の設置
- ▶子育て支援拠点事業の拡充
- ▶地域と学校の連携事業　など

3 頼れる福祉
- ▶児童発達支援センター整備事業
- ▶茎崎老人福祉センター入浴施設等リニューアル事業
- ▶高齢者等ごみ出し困難者への支援事業
- ▶子どもの新たな体験活動事業　など

4 便利なインフラ
- ▶自動運転バス実証事業
- ▶都市計画道路整備推進事業
- ▶地域連携公共ライドシェア事業
- ▶市内バス・タクシー運転士採用支援金の創設　など

5 活気ある地域
- ▶地産地消の推進
- ▶洞峰公園協議会の運営
- ▶（仮称）つくば市陸上競技場整備事業
- ▶（仮称）つくば市茎崎給食レストラン整備事業　など

6 誇れるまち
- ▶芸術文化創造拠点整備事業
- ▶庁舎の温室効果ガス排出量削減事業
- ▶道の駅基本構想策定事業
- ▶中央図書館リノベーション事業
- など

会派代表質問

会派の構成議員数が**３人以上の会派**から、会派を代表して１人が行います。
今定例会議では、**４会派の代表者**が市長の**「令和７年度市政運営の所信と主要施策」**に対して質問を行いました。

つくばクラブ

質問者
小久保（こくぼ）　貴史（たかし）　議員

代表　小久保（こくぼ）　貴史（たかし）
塩田（しおた）　尚（ひさし）　木村（きむら）　清隆（きよたか）　五頭（ごとう）　泰誠（やすまさ）
神谷（かみや）　大蔵（だいぞう）　黒田（くろだ）　健祐（けんすけ）　小村（こむら）　政文（まさふみ）
伊藤（いとう）　文弥（ふみや）

「世界のあしたが見えるまち」について

（質問）　公約に掲げた 99 項目の土台となる５つの考えについて①「持続可能な 15 分都市」②「『緑』への転換（グリーン・シフト）」でイメージするまちの姿について伺う。

（答弁）　①「持続可能な 15 分都市」では、15 分の徒歩で生活に必要な場所に移動でき、公共交通ややさしいテクノロジーも活用し、必要なサービスを受けられるようにする。市制施行前に各町村の中心部だった周辺市街地８地区を拠点に公共施設や医院、お店など生活に必要な機能を集積させ、将来にわたり暮らしやすいエリアをつくる。近隣から周辺市街地に公共交通で接続しやすい環境をつくり、補えない場合は、やさしいテクノロジーにより必要なサービスを受けられるようにし、周辺市街地で持続可能な拠点づくりを目指す。②「『緑』への転換（グリーン・シフト）」では、生活が地球に与える影響を減らし、将来世代も安心して暮らせるまちを実現するため、環境を軸に緑への大きな転換を進める。我慢して環境負荷を下げるのではなく、市民がより環境に配慮して選択し、積極的に緑に投資することを主軸に考えており、そこに雇用がつながることが重要である。例えば、植栽管理の雇用者を育てることで、緑を増やしながら地域経済を発展させるなど、地域経済への循環を視野に入れることで持続可能になる。そこに最先端のテクノロジーを入れていく。このような取り組みを通じ、つくばから「世界のあしたが見えるまち」の具体的なモデルを提示していきたい。

道の駅基本構想について

（質問）　道の駅基本構想策定事業の整備スケジュールについて伺う。

（答弁）　道の駅整備のスケジュールについては、令和７年度に検討委員会を設置し、基本構想を策定していく。その後、基本計画の策定、基本設計、実施設計を行い工事着手となるため、事業期間としては６年程度を想定している。

（質問）　候補地２カ所のコンセプトについて伺う。

（答弁）　道の駅の候補地の池田地区は、筑波山近辺であり、国道 125 号バイパスの開通も控え、観光客の来場が期待できることから、観光とのつながりを重視した道の駅に、上原・松野木地区は、周辺に様々な研究機関が集積していることから、研究機関と連携したつくばらしい特徴を生かした道の駅を考えている。

（要望）　１年でも早く事業を進めてほしいところである。集客があって成り立つものなので、優秀なコンテンツが欠かせないと思う。今後の基本構想に期待をする。

Next つくば

質問者
飯岡　宏之　議員

代表　飯岡（いいおか）　宏之（ひろゆき）
塚本（つかもと）　洋二（ようじ）　木村（きむら）　修寿（しゅうじ）　中村（なかむら）　重雄（しげお）
樋口（ひぐち）　裕大（ゆうだい）　市原（いちはら）　琢己（たくみ）　田代（たしろ）　優（ゆう）

何が必要かを市民と考えて！

（質問）　民間の調査でつくば市は「選ばれるまち」として高く評価されているというが、他社の資料では、「治安が良い」177 位、「街灯や交番など防犯施設が整っている」143 位、「繁華街へのアクセスが良い」248 位、「公共交通機関が充実している」191 位など大変情けない状態である。都合の良い資料だけで業績を自己賛美するのはいかがなものか。自分の目で市内の足りないところをしっかりと見ていただきたい。市の見解を伺う。

（答弁）　人口増加率全国 1 位となり、「選ばれるまち」として具体的な数字として評価されていることについては、市民や事業者、大学、研究機関、議会、行政が連携した市全体での取り組みが高く評価されたものであると考えている。しかし、議員から指摘のあったように、解決すべき課題も数多くある。それらに対応しながら、これまで生み出してきた市の大きな変化をさらに進めていくために、市長 3 期目として掲げた 99 項目の公約と、その土台となる 5 つの考え方に基づき、「世界のあしたが見えるまち」の実現に向け、全力で取り組んでいく。

オンライン診療後に救急対応の受け入れ先は

（質問）　つくば休日夜間小児デジタル急患センターにおいて、オンライン診療後に救急対応が必要な場合の受け入れ先は、主に小児救急を受け入れている筑波メディカルセンター病院になるということだが、必ず筑波メディカルセンター病院で受け入れてくれるシステムになっているのか。救急車を呼んでも受け入れてもらえなかったら、たらいまわしになって取り返しがつかないことにならないか。市の考えを伺う。

（答弁）　つくば休日夜間小児デジタル急患センターは、休日や夜間の時間帯に遠隔アプリを利用して、医師のチャットによる医療相談とオンライン診療を行っている。医療相談については、土曜日、休日は 24 時間、平日は 18 時から翌 9 時まで医師が対応している。また、オンライン診療については、休日は 9 時から 22 時、平日、土曜日は 18 時から 22 時まで診療している。オンライン診療後に救急対応が必要な場合の受け入れ先については、主に小児救急を受け入れている筑波メディカルセンター病院になる。筑波メディカルセンター病院は、県が指定している小児救急医療拠点病院であり、小児救急の患者についてはほぼ受け入れている。まれに救急患者が集中するなど筑波メディカルセンター病院での受け入れが困難な場合には、ほかの医療機関を選定して搬送しており、市としても引き続き適切に対応していく。

つくば・市民ネットワーク

質問者
川村　直子　議員

代表　川村（かわむら）　直子（なおこ）
小森谷（こもりや）　さやか　　あさの　えくこ
川田（かわだ）　青星（あおる）

市の人事配置、見直しを！

（質問）　新しい技術を使った新規施策に重点を置くために人事配置に偏りが生じ、基本的業務に関わる職員が手薄ではないかと危惧している。市の人事配置の考え方を伺う。

（答弁）　人事配置については、新規施策にも配慮しながら、全ての業務に対し大きな偏りが生じないよう行っており、迅速かつ柔軟な意思決定ができる体制づくりや、限られた職員数で最大の効果を上げる配置に努めている。

（要望）　人手不足のために与えられた業務を回すだけで精一杯で、市民への対応が不十分な事案が複数あり、大きな偏りがないとは言い切れない。特に令和 6 年度は選挙管理や生活保護に関することが目立って気にかかった。今後は人命や基本的人権を重視して人事配置を見直すよう、強く要望する。

包括的性教育の推進を！

（質問）　①ユースクリニックの設置②学校での包括的性教育の推進について、考えを伺う。

（答弁）　①市が設置する相談所としてのユースクリニックは、中高生から 20 代までの若者から、心や身体、性の悩みを保健師などが対面やオンライン面接、電話、メールで受け付ける。今後、実施状況を踏まえ、より相談しやすい体制を検討する。②学校における性に関する指導は、学習指導要領に基づき基本的な内容を扱い、細やかな指導を工夫して取り組むことになっており、各学校は、保健体育をはじめ、各教科の授業や産婦人科医による講演などを通じて行っている。しかし、インターネットが普及した昨今、子どもたちは性的情報に過剰にさらされており、人生において責任ある選択をするためには、個別的な教育だけでなく、自分や他者を尊重し、充実した人間関係を築く力を養う包括的性教育が必要だと考える。教職員の理解と実践力を育成する研修、保護者の理解を得るための方策と併せて今後研究していく。

（質問）　ユースクリニックにおける医師との連携は。

（答弁）　医師による保健師や助産師への研修、ケース検討会などを想定しているが、今後の状況を見ながら医師との連携を図っていく。

（要望）　性暴力、緊急避妊、予期しない妊娠、性自認や性的指向についても相談の可能性がある。専門知識を持つ者の適切な対応が必要であり、しっかり対応できる人材の配置を要望する。

公明党つくば

質問者

渡辺（わたなべ）　峰子（みねこ）　議員

代表　渡辺（わたなべ）　峰子（みねこ）
篠内（しのうち）　幸代（さちよ）　　梅沢（うめざわ）　尊信（たかのぶ）

産前産後のトータルサポートを！

（質問）　困難な問題を抱える母子の健康危機を回避し、孤立を防ぐケアが喫緊の課題である。市の考えと今後の取り組みを伺う。

（答弁）　産前産後の支援については、面談を通して必要な支援などにつなげる伴走型相談支援事業や産後ケア事業、妊娠期や子育て世帯の不安や負担の軽減に寄与するホームスタート事業などを実施している。産前産後の支援は市としても重要であると認識しており、今後も切れ目のない支援を継続していく。

（質問）　子育て世帯訪問支援事業についての通知が国から発出されている。この事業は、家事・育児の手伝いでの一時的な負担解消だけでなく、支援を通して対象家庭が自立して生活できるよう環境を整えるものである。担い手の養成・確保が重要だが、市の取り組みを伺う。

（答弁）　子育て世帯訪問支援事業については、現在、他自治体の事例研究を行うなど検討を進めているところである。事業の担い手の確保についても引き続き詳細な検討を行っていく。

（要望）　産後ドゥーラという職種も検討し、効果的なより良い事業の構築を要望する。

認知症と向き合う「幸齢社会」の実現へ

（質問）　高齢化に伴い認知症の人は増加しており、2025 年には 65 歳以上の５人に１人、約 700 万人が認知症になると推計されている。核家族化、共働きの時代にあって、家族で認知症の人を介護するのは大変厳しく、地域社会での支援が必要である。認知症の人が安心して暮らせる支援策について伺う。

（答弁）　認知症の人への支援策については、認知症サポーター養成講座、チームオレンジの活動支援、認知症カフェの運営、認知症本人・家族ミーティングなどを実施し、認知症の人やその家族などの支援を進めている。令和７年度は、市が契約者として認知症賠償責任保険に加入し、安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいく。

（質問）　「誰一人取り残さない」包摂的な社会の実現のためには、様々な場面できめ細やかな事業の展開が必要である。そのための「認知症施策推進基本計画」の策定について伺う。

（答弁）　認知症施策推進基本計画については、認知症の人が基本的人権を享受し、自立した生活を送れるよう支援することを目的としている。市民の正しい理解の促進、質の高い医療・福祉サービスの提供、家族への支援強化を通じ、安心して暮らせる共生社会の構築に全力で取り組んでいく。

川久保（かわくぼ）　皆実（みなみ）　議員

（つくばチェンジチャレンジ）

産後の家事支援の強化を！

（質問）　令和５年 12 月定例会の一般質問において、子育て世帯訪問支援事業として、産後の家事支援を強化することを提案したところ、令和６年度中に事業内容を検討する旨の答弁を得た。当該検討の進捗状況を伺う。

（答弁）　子育て世帯訪問支援事業の検討については、市で実施している子育て支援施策の整理や、複数の他自治体へ事業の実施方法や対象者の範囲などのヒアリングを行った。

（質問）　子育て世帯訪問支援事業の事業内容について、今後の方向性を伺う。

（答弁）　今後の方向性については、現時点で定まっていない。今後、他自治体へのヒアリングの結果を受け、収集した情報を踏まえたより詳細な検討を進めていく。

（質問）　いつまでに方向性を固める予定かを伺う。

（答弁）　令和７年６月を目途に決定する。

（要望）　つくば市では、産後４週目以降の家事支援が公的な事業としては手薄な状況である。是非その部分を強化できるような事業を検討いただきたい。

このほか、公立幼稚園の３歳児保育など、幼児２人同乗用自転車購入費補助事業、市営公園における遊具・バスケットゴールの整備、市主催イベントにおける障がい者に対する合理的配慮の提供、粗大ごみの有料戸別収集の処理料金のオンライン決済について質問した。

木村（きむら）　修寿（しゅうじ）　議員

（Next つくば）

TX 沿線の公益施設用地について

（質問）　県と市が協議して確保している公益施設用地について、地区ごとの箇所数を伺う。

（答弁）　市が希望すれば購入が可能となるよう県が確保している公益施設用地の箇所数については、葛城地区が１カ所、萱丸地区が１カ所、島名・福田坪地区が 15 カ所、上河原崎・中西地区が 10 カ所の計 27 カ所である。

（質問）　TX 沿線では大区画地公益施設用地４カ所が確保されていると思うが、地域交流センター、子どもたちの児童館や子育て支援拠点施設などが TX 沿線にはないとの意見を頂いている。公益施設用地の利活用についてどのように考えているのか伺う。

（答弁）　公益施設用地の今後の利活用については、定住人口が増加していることを踏まえ、引き続き、庁内関係部署や関係機関と協議をしていく。

（要望）　TX 沿線は人口が増加している。公益施設用地の利活用について早急に検討していただきたい。

このほか、国民健康保険（収納率向上の取り組み、レセプト点検の取り組み、求償事務の取り組み、保険事業の取り組み）について質問した。

篠内（しのうち）　幸代（さちよ）　議員

（公明党つくば）

居住地校交流　心のバリアフリーを目指して

（質問）　居住地校交流とは、特別支援学校在籍の児童生徒が、居住地の市立小中学校に行き、年３回を限度に授業や行事などに参加し、交流を図ることである。学校は違っても、その地域で共に暮らす同世代の子どもたちが交流を図ることは、インクルーシブ教育を目指す上で、とても重要であると考える。以下について伺う。①受け入れ側の教育効果と課題②市が考える交流学習の意義と目的③交流および共同学習への見解

（答弁）　①受け入れ側の教育効果について、交流学習を通して、相手を思いやり、主体的に関わろうとする姿が見られ、子どもたちの相互理解につながっている。課題は、各学校や障害のある児童生徒の実態を踏まえての一人一人に応じた受け入れ内容、交流がより身近に実施できるような体制づくりをしていくことである。② 交流学習としては、居住地校交流と学校間交流がある。市が考える交流学習では、障害の有無にかかわらず、地域の児童生徒が、お互いを尊重し合いながら協働して生活していく態度を育むことを目的としている。③交流は非常に大事であると考えている。今実施している学校でもアンケートなどを実施するが、「本当に勉強になった」「いい学びがお互いにできた」というような記述も多くある。これからも、お互いの理解が深まって、共生社会がしっかりと築けるように、一層進めていきたいと考えている。

　このほか、公園点検と遊具選定、学校サポーター事業、認知症について質問した。

樋口（ひぐち）　裕大（ゆうだい）　議員

（Next つくば）

市内中学生が市内高校を希望した場合の不足数

（質問）　市内全ての中学生が、つくば市内の高校を希望した場合の不足数を伺う。

（答弁）　市内公立学校の中学３年生の生徒数は、令和６年度が 2,153 人、今後５年間は毎年 2,000 から 2,200 人前後を推移する見込みである。対して、市内の公立および私立高校の令和７年度募集定員数は約 1,200 人である。

（質問）　市内中学生が市内高校を希望した場合、約 1,000 名の受け入れ不足である。また、県は高校の新設はしないとのことだ。市長も令和７年１月の定例記者会見にて「高校が足りないことを数字で示したい」と表明したが、市長が行った具体的な活動を伺う。

（答弁）　関係団体と協議するとともに、教育局とも協議をしている。

（質問）　県知事に提案した竹園高校の建築費負担はどうなっているか。

（答弁）　県知事にもその話はしており、その中で記者会見での回答をしている。

（質問）　まだ知事からは返答がないということか。

（答弁）　返答がないのではなく、数字として足りているという県の公式の答弁である。従って、足りていないということを示していく。

（質問）　まだ数字で示してないということか。

（答弁）　県が先に出した数字について、関係団体とも話をしながら、その数字では違うということを具体的に示す準備をしている。

　このほか、図書館の新設、郵便局誘致、焼却灰の最終処分場、小学校の開校時間（小１の壁について）、ほか３点について質問した。

山中（やまなか）　真弓（まゆみ）　議員

（日本共産党つくば）

市長の海外視察令和４年以降５回 2,455 万円

（質問）　以下について伺う。①市長が行った海外出張の行き先と目的および日数と費用について②出張報告書および費用はどこに公表しているのか③公式ブログは公式文書か④土浦市は、海外視察に行く前に行き先、日数、金額、同行者を公表しているが、つくば市では公表しているのか⑤視察は市民生活にどのように生かされているのか

（答弁）　①令和６年度はフィンランドで OASC の会議に登壇し、スマートシティの取り組みを紹介したほか、周辺国でスタートアップやユースクリニックの取り組みを視察した。日数は９日間で、費用は７名で約 460 万円だった。②出張報告書として公表しているものはないが、内容は市 HP の市長公式ブログなどで公表している。金額は公表していない。③市 HP 上のものであり、公式と考える。④出張前に公表するものはないが、予算については当初予算に掲載している。⑤例えば、令和５年度のスマートシティエキスポでは、市のスマートシティの取り組みを世界に PR する目的もあったが、他都市の成功事例を学ぶことで、市のスマートシティ戦略を最適化し、今後公共サービスの向上などが期待されると考えている。

（意見）　オンラインで対応可能なものは、市税で行く必要はないと考える。

　このほか、高齢者の移動支援、児童館の土日開放事業、下水道の老朽管対策について質問した。

梅沢（うめざわ）　尊信（たかのぶ）　議員

（公明党つくば）

高齢者のゴミ出し支援について

（質問）　高齢化に伴い、ごみ出し困難な高齢者の方々が増えているとの声を多数頂いている。市としては、この問題に対し、令和３年度から協議を重ね、アンケート調査やタスクフォースチームによる現地調査を行いながら、支援に向けて検討を重ねてきたが、現状と今後の取り組みについて伺う。

（答弁）　高齢者などのごみ出し支援については、つくば市地域ケア会議・生活支援体制整備推進会議で協議を重ね、令和５年 10 月に協議会から、「高齢者のごみ出し支援に関する提言書」が市に提出された。現在、関係部署と連携し、仕組み作りに取り組んでいる。提言書の内容については、自助・互助・共助・公助の視点から、ごみ出しに関する環境を整えること、地域での助け合いの体制作り、戸別収集など、ごみ出しが困難な人を支援する取り組みが提案されている。戸別収集については、介護や障害などの理由により、ごみ集積所へのごみ出しが困難な高齢者などの世帯に対し、家庭ごみの戸別収集を行うもので、令和７年度からの事業開始に向け、現在準備を進めている。対象者は現在精査中だが、介護認定を受けている方や障害者手帳を所持している方で、親族や近隣住民からごみ出しの協力を受けることができず、ごみを集積所まで自分で運ぶことができない方を想定している。

　このほか、市内小中学校における学級運営が困難なクラスに対する市の対応、市の入札制度について質問した。

塩田　尚（しおた　ひさし）　議員

（つくばクラブ）

発達障害児への支援体制について

（質問）　文部科学省の調査によると、発達障害の可能性のある小中学生は全国で８．８％で、クラスに２～３人在籍することになる。就学前からの早期発見・早期療育が大切である。子どもたちを思い、施設・学校・保護者の連携強化のため、官民一体の支援体制を作るべきだ。児童発達支援センターでも早期発見の方法である ESSENCE を導入すべきと考えるが、見解を伺う。

（答弁）　ESSENCE は、児童発達の測定の１つの指標として極めて重要なものだと考えている。12 項目ある認識だが、様々な角度から早期に気になる部分を把握し、適切な支援につなげていくことが非常に重要であり、そのために児童発達支援センターにも専門家を十分に配置しなくてはいけないと考えている。市内の専門家の数にも限りがあるが、いかに専門家が集まり、チームとしてその個人を支援していけるかが非常に重要になると思う。専門的な相談ができないとか、適切な支援につながらないというような児童発達支援センターでは誰も来てくれなくなってしまう。そのため、ESSENCE の考え方はもちろん、発達障害あるいは発達課題について多角的な知見を持つ職員と、どのような形で専門家と連携できるかということも考えながら、適切なその後の連携と療育につながる形の児童発達支援センターにしていきたいと考えている。

（要望）　「ここあぽ」というウェブアンケートシステムもある。こういったものの導入も検討することを要望する。

神谷　大蔵（かみや　だいぞう）　議員

（つくばクラブ）

道の駅基本構想の策定について

（質問）　道の駅基本構想の策定に当たり、地域の意見を反映できる準備委員会などの設置について市の考え方を伺う。

（答弁）　道の駅整備に向けた今後の取り組みについては、令和７年度、基本構想の策定を予定している。策定に当たっては、検討委員会の設置を予定しているので、委員として地元の方にも参加いただくなど、意見を伺いながら、地域の特色を生かした道の駅の整備を進めていく。基本構想は、非常に重要なものになると考えており、地域の皆さんと対話をしながら、いい内容のものにしていきたいと考えている。ただ物を売るだけの場所では、造る意味がないと言っても過言ではないと思っている。地域にどのような価値をもたらすことができるかという視点で、つくば市らしさをどう付加して、地域のニーズをどう掛け合わせていくかがとても重要なものになり、それは、基本構想の中で描かれるものだと思っている。議員にも様々な視点から助言をいただき、共にいい構想を作っていければと思っている。

（要望）　市北部の池田地区での道の駅整備が、周辺地域に影響を与え、今後の地域発展へとつながることを心より願う。そのためにも地域の意見を取り入れ、多様なニーズや地域の課題に対応できる機能を備えた道の駅を整備していくよう、一日も早い基本構想の策定、そして一日でも早く完成するよう推進していくことを要望する。

このほか、観光振興、河川敷を利用した（野球場・サッカー場などの）スポーツ施設の整備、鳥獣被害対策について質問した。

木村　清隆（きむら　きよたか）　議員

（つくばクラブ）

市民の口腔衛生健康管理について

（質問）　口腔の健康状態は、全身の健康状態と密接な関連があるといわれている。口腔の健康状態を維持・改善するため、市民に対する健康管理責任として、口腔衛生指導・対応についての P 計画 D 実行 C 確認 A 改善サイクルによる、妊産婦・乳児から高齢者までの取り組みを詳細に伺う。

（答弁）　妊産婦には、母子健康手帳交付時に妊娠中の歯の健康管理の情報提供を行うほか、妊娠・出産・育児に対して知識を学ぶマタニティ講演会で、歯科医師から妊娠中や生まれてくる子の歯の知識について啓発している。乳児から小学校就学前の子どもには、１歳６カ月および３歳健診対象児に医療機関での歯科検診を実施している。また、２歳児には対象月に歯や発達についての情報を掲載したチラシを各家庭に通知し、必要に応じ個別相談などを実施している。児童生徒への取り組みは、茨城県つくば歯科医師会と協力し、歯科検診や普及啓発のチラシ配布などを行っている。成人には、市の歯科保健計画に基づき、節目年齢の方を対象に、無料の歯科検診の実施や、口腔ケアに関する知識の普及啓発を進めている。さらに、高齢者には介護予防のため、必要に応じて歯科衛生士などが自宅を訪問し、口腔機能についての指導などを行っている。取り組みについては、定期的に実施するアンケートなどから評価を行い、随時、計画を見直している。

（要望）　さらに、小学校口腔衛生推進事業のフッ化物洗口に関して教職員の実務についても詳細に伺い、教職員の負担軽減を強く要望する。

このほか、学校・生涯学習での書道・算盤などの日本文化的な取り組みについて質問した。

田代　優（たしろ　ゆう）　議員

（Next つくば）

乳児でも安心できる避難所づくりを！

（質問）　避難所では、ベビーベッドがないために、あやしながら一晩中抱っこをしている家族もいるという。国の防災計画には育児用品の確保が明記されており、ベビーベッドもその対象である。子をもつ親の不安解消のため、市としても導入を検討いただきたい。市の見解を伺う。

（答弁）　避難所における乳児の対応としては、バウンサーを用意しているが、乳幼児が寝ついた後は直ちに睡眠用の製品に移すように 2024 年６月に SG 基準が改正されたため、避難所でベビーベッドとして使用できる用品の導入を検討しているところである。

（要望）　乳児を抱える家庭が安心して避難できる環境整備は重要である。市での段ボール製ベビーコット導入を前向きに進め、近隣自治体の事例を参考に早期の配備計画をお願いしたい。

このほか、LINE を活用したスマホ市役所について質問した。

あさの　えくこ　議員

（つくば・市民ネットワーク）

どうする？新しい図書館

（質問）　市の図書館事業についての検討の経緯と、現在進められている事業について伺う。

（答弁）　令和２年に図書館懇話会から出された提言書のステップアップフローに基づき検討し、事業を進めている。提言書にある事業で進んでいるものとして、自動車図書館の増車、４つの交流センター図書室の中央図書館分室への位置付け、滞在型図書館を目指した図書館リノベーション工事や、屋外で読書を楽しみながら交流するライブラリーピクニックの実施がある。現在は新たな図書館整備の検討に着手している。

（質問）　市民は中央図書館や分室のみならず、交流センター図書室などさまざまな施設を利用している。交流センターなどの選書には司書の巡回が欠かせないが、考えを伺う。

（答弁）　交流センターから問い合わせや協力依頼があった時には、必要に応じて中央図書館から助言や協力を行っている。しかし、市民センターおよび12カ所ある交流センターを定期的に巡回するには、人的な面や業務量など負担が大きく、現在の体制では困難だと考える。

（要望）　正規の専門職の増員は欠かせない。また、既存の施設はどうあったらよいかを各地域の市民参加で協議し、その流れから新しい図書館、中央図書館のリノベーションの計画を作っていただきたい。

このほか、外国につながる子どもの日本語学習支援について質問した。

青木（あおき）　真矢（しんや）　議員

（ワニナルつくば）

学校給食の地産地消と食育について

（質問）　小中学生の給食における地産地消の推進は、食育の最も身近でかつ有効な取り組みであると考えている。そこで、以下３点伺う。①学校給食の地産地消の現状について②学校給食でつくば市産の食材を使うことの難しさについて③農家と子どもたちが交流する機会の創出に関し、現状の取り組みについて

（答弁）　①学校給食の地産地消の現状については「つくば市の学校給食における地産地消推進ガイドライン」に基づき、月１回のつくば地産地消の日や地産地消月間、食材選定基準の設定などに取り組んでいる。②学校給食でつくば市産の食材を使用する難しさとして、給食の食数が多く、その数を納入可能な生産者が少ないことがある。また、農作物が天候不良などの影響を受けたときに、予定された数量を確保できない可能性もある。③農家と子どもたちとの交流については、半数程度の小学校で栄養教諭や生産者による食育授業を行っている。そのほか、学校独自に様々な農業体験も行っている。これらは、自らの食を考え、農業の大切さを学ぶ機会につながっている。

（要望）　学校給食における地産地消の推進を通じ、体系的な食育の推進と子どもたちと農業者の交流の強化を要望する。

このほか、筑波大学とつくば市のスポーツに関する連携について質問した。

伊藤（いとう）　文弥（ふみや）　議員

（つくばクラブ）

障害のある人たちの地域生活支援充実を

（質問）　障害のある人が地域で自分らしく生きるために、経済的負担の軽減や適切な住まいの確保が課題となっている。アンケート調査からは、グループホームの充実や外出支援の拡充を求める声が多く、また差別や嫌な思いをする場面も多いことが明らかになった。誰もが自分らしく生きられる共生社会の実現に向けて、①移動支援サービスの利用状況②グループホーム充実への要望③健康維持・増進に向けた取り組みなど、市の方針と具体的施策について質問する。

（答弁）　①移動支援利用者の障害種別の内訳は、身体障害が２名、知的障害が15名、精神障害が４名、身体障害と知的障害の重複が７名、知的障害と精神障害の重複が１名である。移動支援を含めた各種支援制度の利用が低調な要因については、対応できる事業所やヘルパーの数が十分でない、公共交通機関が利用しづらい、同行者の交通費の負担が必要になるなどの要因が考えられる。②グループホーム充実への要望については、開設を検討している事業者に対して指導、助言を行っており、現在も複数の事業者と事業所の新設に向けて協議を進めている。③障害者の健康維持・増進に向けた具体的な取り組みについては、これまで実施しているおひさまサンサン生き生きまつりなどの個々の事業を引き続き行うとともに、障害者の社会参加を支援する障害者団体や市民団体に対して活動を支援する補助金制度を案内していく。

高野（たかの）　文男（ふみお）　議員

（創生クラブ）

つくば市防犯カメラ設置事業補助金について

（質問）　防犯カメラ設置事業補助金の申請件数について伺う。

（答弁）　防犯カメラ設置補助金の申請件数と設置台数については、令和５年度の申請が４件、設置が10基である。また、令和６年度の申請が５件、設置が10基である。

（質問）　現在の地域での犯罪防止を目的として道路などの公共空間を撮影する防犯カメラ設置補助金とは別に、窃盗や強盗などのターゲットになりやすい高齢者などで一戸建てにお住まいの方に、家庭用防犯カメラ設置補助金を検討すべきと考えるが、市の見解を伺う。

（答弁）　家庭用防犯カメラなどの設置に対する補助については、先進自治体などの事例を調査し、制度導入の可否について研究する。

（要望）　闇バイトなどによる窃盗や強盗犯罪の事例を考慮し、前向きに対応していただきたい。

このほか、森林バンク制度について質問した。

榊原（さかきばら）　アリーゼ　議員

（縁粋会）

令和５年度市内公共交通の現状評価と改善策

（質問）　①市内公共交通の現状評価として、市が行うコミュニティバス「つくバス」、デマンド型交通「つくタク」、支線型交通「つくばね号」の令和５年度の利用者実績②現在、具体的な施策として、市が行う公共交通がどのような考えをもとに利便性向上に努めているのか③今後の改善策として、地域全体でどのように公共交通の充実を図っていくのかを伺う。

（答弁）　①市内公共交通の現状については、令和５年度実績で、つくバスが 113 万 2,827 人で前年度比 15 万 1,041 人増、つくタクは４万 8,552 人で前年度比 237 人減、つくばね号は令和４年 10 月からの運行により、令和４年度は 2,469 人、令和５年度は 6,138 人だった。②具体的な施策については、つくバスでは街の進展に伴うルート変更やＴＸに合わせた運行時刻の見直し、つくタクでは AI オンデマンドシステムの導入、つくばね号では沿線住民と協同で利便性向上策の検討を実施している。③今後の改善策については、令和７年度に幹線交通と支線交通の役割分担や路線バスとつくバスの重複箇所の見直しを図るなど、誰もが移動しやすい公共交通網の実現に向けた検討をしていく。

このほか、中心市街地以外の暗い郊外やローカルでの街灯設備の増設、17 億円にものぼる市たばこ税の収入済み額が一体何に使われているのかについて質問した。

川田（かわだ）　青星（あおる）　議員

（つくば・市民ネットワーク）

農業者を支援して、遊休農地の活用を！

（質問）　遊休農地の増加が全国的な課題となっている。現状の課題と今後の対策について伺う。

（答弁）　新たな担い手がいないことが原因で遊休農地となってしまう事例が多い。対策として、新たな担い手の確保・育成と、担い手が効率的な農業を行えるように農地の集約化を図る。

（質問）　遊休農地解消のため、第３次農業基本計画を市が主体となって推進していただきたい。その上で、今後実施を検討している遊休農地対策はあるか。

（答弁）　新たな補助金を設ける予定である。

（質問）　対象者や補助金の限度額などを伺う。

（答弁）　対象者としては、農業委員会において再生可能としている遊休農地を再生して耕作する農業者を想定している。補助金額は、農業委員会において設定している農作業料金標準額を基に、面積に応じて算定した額と土壌改良に必要な資材費を合わせた額とする予定でいる。なお、限度額については 10a（アール）あたり 10 万円を予定している。

（要望）　補助金申請書類作成のサポートもしていただきたい。また、有機農業の推進、既存農家と新規就農者との意見交換を定期的に行うこともお願い申し上げる。

このほか、災害への対策について質問した。

中村（なかむら）　重雄（しげお）　議員

（Next つくば）

企業誘致の取り組みについて

（質問）　現在、市は人口増加傾向にあるが、つくばエクスプレスを利用してつくば市以外で仕事をされている方が多いようである。今後のまちづくりにおいて、企業誘致は市の発展には不可欠であると考える。①現在の企業誘致の取り組み②企業誘致における国や県との連携の重要性についての市の考えを伺う。

（答弁）　①企業誘致の取り組みについては、市内に９つある工業団地を中心に誘致を進めてきており、令和７年２月１日現在で 205 事業所が立地している。工業団地内の事業所の従業員の規模は、従業員 100 人を超える製造工場や 10 人以下の研究施設など、様々な規模の事業者が立地している。立地企業が撤退しないための取り組みとしては、立地企業へのフォローアップ訪問において各企業から頂いた要望を踏まえ、企業活動に集中できる環境づくりを行っている。また、人材不足の問題を抱える企業が多いことから、企業の人材確保支援に取り組んでいる。具体的には、市内企業を対象に、新卒者、転職者向けの就職面接会として、「つくば市就職フェア」を毎年開催している。また、卒業後に就職を希望する高校生向けに、「つくば市企業研究フェア」を令和７年４月に初めて開催する予定である。②国や茨城県との連携については、非常に重要であると認識しており、産業用地情報を共有しているほか、県と共同で立地企業へのフォローアップを行っている。

このほか、国道 354 号バイパスの進捗状況について質問した。

市原（いちはら）　琢己（たくみ）　議員

（Next つくば）

年末年始に休日夜間診療所の開設が必要

（質問）　働き方改革以降、市の医療体制の逼迫がささやかれているが、それに関し、①働き方改革の影響について②年末年始の医療体制について③つくば市休日夜間小児デジタル急患センターについて④夜間診療所について伺う。

（答弁）　①働き方改革の影響については、日本医師会の調査によると、小児、救急医療の縮小や取りやめなどの影響があるとのことである。また、近隣の医療機関でも休日夜間の小児救急を取りやめた事例がある。②年末年始の医療体制については、医師会の協力の下、休日診療を１月１日は２医療機関、それ以外の日は３医療機関で、９時から 16 時の時間帯で実施した。③つくば市休日夜間小児デジタル急患センターは、０歳から 15 歳の小児を対象として、クリニックなどの診療時間外である休日や夜間の時間帯に、遠隔アプリを利用して医師のチャットによる医療相談とオンライン診療を行っている。経費については、月額 121 万円である。④夜間診療所については必要性を認識しており、対面ではないが、小児の休日夜間デジタル急患センターを開設している。

（意見）　年末年始の医療逼迫を次も引き起こさないために年末年始だけでも休日夜間診療所が必要だと考える。

このほか、県道の整備に対する市の関わりおよび市道、市の市債について質問した。

小森谷（こもりや）　さやか　議員

（つくば・市民ネットワーク）

動物愛護（犬猫）の取り組みについて

（質問）　つくば市は県の動物指導センターに多くの犬猫を収容させてしまっている。センターでは収容中に死亡してしまう動物もいる。動物愛護施策における課題を伺う。

（答弁）　犬や猫の多頭飼育崩壊や野良猫の繁殖抑制の対応が十分でない点が挙げられる。

（質問）　特に猫は繁殖力が強く、生後６か月から１年に３回妊娠することができ、１度に５～７匹産むため迅速に対応することが必要である。今後の方策は。

（答弁）　野良猫の繁殖抑制への今後の取り組みについては、茨城県地域猫活動推進事業のほか、公益財団法人どうぶつ基金が実施しているさくらねこ無料不妊手術事業というものがあるため、そちらも活用できるよう市として登録を行い、愛護団体などの活動を支援することで野良猫の繁殖を抑制していきたいと考えている。

（要望）　多頭飼育崩壊には飼い主の孤立や貧困などの問題が複雑に絡み合っており、福祉の支援が必要なケースが多い。福祉部門との連携もぜひお願いしたい。

このほか、産前産後の支援について質問した。

塚本（つかもと）　洋二（ようじ）　議員

（Next つくば）

スポーツ施設について

（質問）　流星台スケートボードパークについて。東京とパリ五輪以降10代の若い選手の活躍もあり市内でもスケートボードの人気が高まっていると感じる。市でもスケートボードパークを整備し、４月で２年を迎えこれまでの利用者や初心者の方から施設についての要望などの声があるので以下伺う。①利用状況について②利用者からの意見や要望などについて③施設の増設について

（答弁）　①流星台スケートボードパークの利用状況については、供用開始した令和５年４月30日から令和６年12月31日までに、延べ１万507人が利用している。また、スケートボードの認知、普及、振興を目的に、県内在住、在勤、在学の方々を対象とした大会を、県内から国際大会やオリンピック競技大会に参加できる選手育成を目指す団体と市の共催により２回開催した。②利用者からの意見や要望については、令和６年11月に実施したアンケート調査や市民の声などにより把握に努めている。施設に関する主な意見や要望として、受け付けを簡素化するための登録カード導入や、トイレおよび時計の設置、照明の追加などが寄せられている。③スケートボードパークのアンケート調査においては、滑走面の拡張やセクションの増設を望む声があった。増設に当たっては、敷地の問題や近隣住民の理解も得なければならないことから、慎重に検討していく。

このほか、公有地利活用に関し、春日消防本部跡地の活用についての現在の状況と今後の考えについて質問した。

酒井（さかい）　泉（いずみ）　議員

（新・つくば民主主義の会）

高エネ研南側用地の売却契約の内容が不透明

（質問）　市は、グッドマンジャパンとの契約の内容を市民に公開していない。プロポーザル審査で選定した企業との契約は随意契約であり、審査内容と契約内容を全て公開すべきと考えるが、見解を伺う。

（答弁）　プロポーザル審査内容および売買契約内容を公開していない理由については、つくば市情報公開条例に定められた非開示理由に該当するためである。随意契約であっても、その契約書の内容は情報公開の制度にのっとって、公開などをしていくべきものだと考える。この契約書については、契約の主体は土地開発公社となっており、行政文書ではないという点も考慮している。

（意見）　随意契約の契約書が墨塗りで市民に非公開という事態は、市民は誰も納得しない。

このほか、市の組織改革、特別職の退職金問題、タウンミーティング、市報とかわら版、都市計画道路妻木金田線について質問した。

小村（勝手につくば大使）　政文　議員

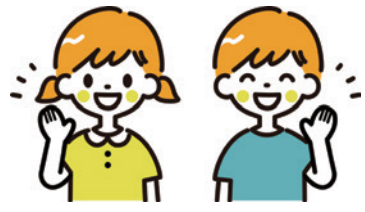
（つくばクラブ）

議会カフェのアイデアについて

（質問）　第２回議会カフェで、４年後のつくば市を子どもも大人も幸せなまちにするために市民にできることとして、市民から最も評価を得たアイデアは「すれ違う人とあいさつする」だった。市ではあいさつ啓発についてどのように考えているか伺う。

（答弁）　あいさつは、多方面にわたりポジティブな効果が科学的に認められていることであるから、誰もがあいさつをして行き交うような、そういうまちにしていきたい。一方で、あいさつ運動をする際には、例えば場面緘黙（ばめんかもく）などの特性がある子どももいるため、そういったケースではあいさつを強制しないなど、あいさつをすることが苦しい状況にならないように配慮をしながら、どういう取り組みができるかということをそれぞれの立場で考えていくことが重要である。

（意見）　つくばあいさつ週間のようなものを制定し、全市的にみんながあいさつを交わし、温かい地域社会をつくっていけるように、今後の取り組みを期待する。



委員会での審査

議案など詳細

総務文教分科会

【議案第86号】令和7年度つくば市一般会計予算

質疑 **消防費　地域防災推進に要する経費に関し、災害用備蓄品保管委託の概要について**

答弁 旧上郷高校体育館に保管されている市の防災用備蓄品は、陸上競技場整備のために上郷高校の解体が始まる前に、別の保管場所に移動させる必要があり、令和7年度の台風シーズンに入る前に、備蓄品を民間の倉庫に移動させたいと考えている。金額の内訳は、移設作業料で税込み377万8060円、保管委託料で税込み1998万7000円である。6月に契約を始めることを想定して10カ月分の金額となっている。

総務文教委員会

【議案第114号】財産の取得について

▼審査結果＝可決すべき

質疑 **増築予定の校舎の規模について**

答弁 令和12年度から教室が不足する予想になっており、生徒数の推計がピークとなる令和17年度には、各学年9クラス程度で、普通教室が26クラス、特別支援教室が7クラスとなる推計であり、それに合わせた設計となっている。

福祉保健分科会

【議案第86号】令和7年度つくば市一般会計予算

質疑 **衛生費　若者のからだ・こころ・性の相談事業に関し、事業の詳細と周知方法、講師謝礼と講習会受講料の内容について**

答弁 中高生から20代までの若者が心身の悩みを相談することで、自身の心身の健康管理を行うことを目的に相談場所を設置するものであり、保健師や助産師が対応する。周知方法としては、中高生にはカードサイズの案内を学校で5月頃に配付するほか、SNSでの配信や地域交流センターへのチラシ設置、保健センターへのポスター掲示、広報紙や市HPへの掲載を考えている。また、専門領域の医師などに講師を依頼し、専門家を交えた年2回の相談事例検討会や年1回の職員向け研修会を実施することと、思春期保健セミナーの受講を4日予定しているため、講師謝礼と講習会受講料を計上している。

福祉保健委員会

【議案第124号】つくば市立保育所条例の一部を改正する条例

▼審査結果＝可決すべき

質疑 **閉所する3保育所の園児や職員の行き先と、3保育所の近隣に新たな保育所ができるのかについて**

答弁 全ての園児は新しく移管される保育園への入所が可能であり、独自に加点制度を設けているため、加点などに応じて他の施設に転所している方もいる。正規職員は、人事異動に伴って別の公立保育所で勤務する予定である。会計年度任用職員については、移管先の法人での勤務を希望していれば前向きに受け入れるように法人と協議しており、その他の公立保育所での勤務を希望していれば要望に応えている。新たな保育所については、稲岡保育所のすぐ南側と、上ノ室・上広岡保育所の真ん中辺りで建設が進められている。

市民経済分科会

【議案第86号】令和7年度つくば市一般会計予算

質疑 **民生費　芸術文化創造拠点整備に要する経費に関し、維持改修工事の内容について**

答弁 旧田水山小学校を改修し、市の芸術文化を育んでいく場として創作や展示のできる施設を整備する。内容としては、市民アーティストが創作、練習、発表などを行うことができるスペース、多くの市民がたまり場として利用できる地域交流スペース、校庭には筑波山を一望できる屋外展望デッキなどを設置する。

市民経済委員会

【議案第109号】つくば市中小企業・小規模企業振興基本条例について

▼審査結果＝可決すべき

質疑 **本条例を制定することでどういったことが可能になるのか**

答弁 つくば市の中小企業振興の基本方針や、自治体の責務、中小企業や住民らの役割などの理念的事項を明確にすることで、中小企業などの振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進に資すると考えている。

都市建設分科会

【議案第86号】令和7年度つくば市一般会計予算

質疑 **土木費道路維持管理に要する経費に関し、土木工事にあるポンプ交換工事、改良舗装工事および路面再生工事の金額と主な対象場所について**

答弁 ポンプ交換工事は、森の里地内の雨水排水ポンプの更新工事と、自家発電設置工事であり、合わせて9919万8000円を予定している。改良舗装工事については、妻木地区、大形地区、小田地区、西高野地区、栗原地区、大地区、大角豆地区、上郷地区、小野崎地区、面野井地区、東平塚地区、下萱丸地区および高見原地区の13件であり、金額は3億2338万9000円を予定している。路面再生工事は沼崎地内の舗装工事であり、金額は8000万円を予定している。

都市建設委員会

【議案第103号】つくば市建築基準条例の一部を改正する条例について

他3件

いずれも、質疑、自由討議、討論はなし。

予算決算委員会

【議案第86号】令和7年度つくば市一般会計予算

▼審査結果＝可決すべき

修正案に反対・原案に賛成の討論

まち全体の価値を高める施策に重点的に予算が配分されている。陸上競技場については、検討会議なども実施され、誰もが利用できる施設を整備の基本方針とし、市がスポーツ推進計画で掲げる基本理念を体現する施設であり、必要な予算だと考え、原案に賛成、修正案に反対する。

修正案に賛成の討論

陸上競技団体などからの要望は5000人規模の大会などができる施設であり、現在県大会が行われている運動場とは規模が明らかに違うため、要件だけを満たしても使われないと考える。また、他の候補地であれば施設を壊す必要もない。小学校建設工事など、その他の事業については賛成のため、修正案に賛成する。

	修正案	原案
主な修正内容	右部分を削除	保健体育費　体育施設費 （仮称）つくば市陸上競技場整備に要する経費 4億9,209万3,000円
提出者	飯岡 宏之 委員　田代　優 委員 市原 琢己 委員　樋口 裕大 委員 中村 重雄 委員　木村 修寿 委員 塚本 洋二 委員	市長

本会議での審議

議案など詳細

【議案第80号】令和6年度つくば市一般会計補正予算（第8号）　**原案可決**

反対討論　この補正予算には、（仮称）つくば市陸上競技場建設工事設計委託料が含まれている。教員の働き方改革の一環として、現在の市内の小中学校では、中学校の陸上競技大会が年に1度開催されるのみである。つくば市ＰＴＡ連絡協議会からの要望にも、陸上競技場の建設要望はない。筑波大学でも、費用面などで維持管理に課題を抱える現状を聞いた。市と連携して使えたらありがたいという話もあった。一度立ち止まり、筑波大との協議も行い、持続可能な施設運営を検討する必要がある。それらの予算を削除した修正案に賛成をしたため、反対する。

賛成討論　今回の補正予算には、民間保育所の運営委託料など、子育て支援に必要な経費が計上されている。また、令和7年度からの前倒しによる国庫補助金を利用し、小学校のトイレ改修工事を行うことで、児童生徒がより快適に学校生活を送れるよう配慮されている。さらに、（仮称）つくば市陸上競技場の整備については、スポーツ環境の向上に寄与するだけでなく、学校跡地の有効活用を通じて、地域の活性化にもつながると考える。以上の理由から、今回提案された補正予算は必要不可欠な予算であり、内容についても十分に精査されているので、賛成する。

【議案第96号】つくば市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について　**原案可決**

反対討論　令和7年度から国民健康保険料が引き上げられる。物価高の中、市民生活に大きな打撃となる。国の支援不足が問題だが、一般会計から繰り入れを行い、引き上げも抑制可能と考える。国保税の県統一化もあり、市として苦慮し、基金を取り崩すなど、様々な手段をとっていることは承知しているが、市民生活を苦しめる値上げに伴う条例改定であり、反対する。

賛成討論　国民健康保険制度改革により、平成30年度から都道府県が国保財政の運営主体となり、毎年県が算定する事業費納付金を県内各市町村が納めているが、当市では国民健康保険支払準備基金が減少し、現行の税率では対応困難な状況である。また、将来的な県内保険料統一に向け、県が示す標準税率に近づける必要もあり、今後の国保財政の安定化のためには必要な改正と判断し、賛成する。

3つの特別委員会を設置しました。

令和６年第２回定例会令和７年２月定例会議において、中長期的に対応すべき課題に対処するため、特別委員会を設置しました。

ジオパーク・道の駅推進特別委員会

委員長	神谷　大蔵		委員	小村　政文
副委員長	梅沢　尊信			中村　重雄
委員	川田　青星			小森谷さやか
	市原　琢己			飯岡　宏之
	青木　真矢			

最終処分場に関する調査特別委員会

委員長	伊藤　文弥		委員	篠内　幸代
副委員長	川村　直子			酒井　泉
委員	榊原アリーゼ			高野　文男
	田代　優			五頭　泰誠
	樋口　裕大			

公共交通調査特別委員会

委員長	小久保貴史	委員	木村　清隆
副委員長	渡辺　峰子		木村　修寿
委員	川久保皆実		塚本　洋二
	あさのえくこ		塩田　尚
	山中　真弓		

議会 BCP に基づく訓練を実施しました。

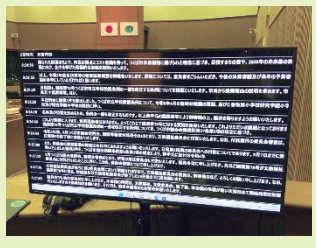
議会 BCP に基づく訓練を令和７年３月 13 日および３月 19 日に実施しました。

大規模地震が発生したと想定し、実際の流れに沿って訓練を行った上で、課題や改善点を話し合いました。

傍聴のご案内

つくば市議会の本会議と委員会は公開されており、誰でも傍聴することができます。
議会の傍聴にぜひお越しください。

○ 発言内容表示ディスプレイを傍聴席の右側前方に設置しています。



○ 手話通訳・要約筆記をご希望の方は傍聴予定日の７日前までに議会局へお申し込みください。

傍聴についてのご相談は議会局にご連絡ください。

議会局 議会総務課
電話　029-883-1111（内線 6111・6113）
FAX　029-868-7635

傍聴の案内

議会中継 録画配信

配信ページ

○ 本会議（定例会議・緊急会議）の開催時間は生中継をご覧いただけます。

○ 本会議や委員会などの、各開催日の３日後（休日を除く）以降から録画映像を視聴することができます。

広報広聴委員			
委員長	川久保　皆実	委　員	小村　政文
副委員長	青木　真矢	委　員	中村　重雄
委　員	川田　青星	委　員	山中　真弓
委　員	梅沢　尊信	委　員	小森谷　さやか

令和 6 年第 2 回定例会令和 7 年 2 月定例会議議案等議決結果

報　告　案　件
【報告第 48 号】　専決処分事項の報告について
【報告第 49 号】　専決処分事項の報告について
【報告第 50 号】　専決処分事項の報告について
【報告第 51 号】　専決処分事項の報告について
【報告第 52 号】　専決処分事項の報告について
【報告第 53 号】　専決処分事項の報告について
【報告第 54 号】　専決処分事項の報告について
【報告第 55 号】　専決処分事項の報告について
【報告第 56 号】　専決処分事項の報告について
【報告第 57 号】　専決処分事項の報告について

案　件　名	議決結果
【議案第 80 号】　令和 6 年度つくば市一般会計補正予算（第 8 号）	原案可決
【議案第 81 号】　令和 6 年度つくば市国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決
【議案第 82 号】　令和 6 年度つくば市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
【議案第 83 号】　令和 6 年度つくば市介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
【議案第 84 号】　令和 6 年度つくば市水道事業会計補正予算（第 4 号）	原案可決
【議案第 85 号】　令和 6 年度つくば市下水道事業会計補正予算（第 3 号）	原案可決
【議案第 86 号】　令和 7 年度つくば市一般会計予算	原案可決
【議案第 87 号】　令和 7 年度つくば市国民健康保険特別会計予算	原案可決
【議案第 88 号】　令和 7 年度つくば市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
【議案第 89 号】　令和 7 年度つくば市作岡財産区特別会計予算	原案可決
【議案第 90 号】　令和 7 年度つくば市等公平委員会特別会計予算	原案可決
【議案第 91 号】　令和 7 年度つくば市介護保険事業特別会計予算	原案可決
【議案第 92 号】　令和 7 年度つくば市水道事業会計予算	原案可決
【議案第 93 号】　令和 7 年度つくば市下水道事業会計予算	原案可決
【議案第 94 号】　つくば市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
【議案第 95 号】　つくば市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
【議案第 96 号】　つくば市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
【議案第 98 号】　つくば市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
【議案第 99 号】　つくば市子育て総合支援センター条例の一部を改正する条例について	原案可決
【議案第 100 号】　つくば市地域交流センター条例の一部を改正する条例について	原案可決
【議案第 101 号】　つくば市土砂等の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
【議案第 102 号】　つくば市筑波ふれあいの里条例の一部を改正する条例について	原案可決
【議案第 103 号】　つくば市建築基準条例の一部を改正する条例について	原案可決
【議案第 104 号】　つくば市が管理する道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
【議案第 105 号】　つくば市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例及び地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
【議案第 106 号】　つくば市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
【議案第 107 号】　刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	原案可決
【議案第 108 号】　つくば市附属機関の設置等に関する条例について	原案可決
【議案第 109 号】　つくば市中小企業・小規模企業振興基本条例について	原案可決

案　件　名	議決結果
【議案第 110 号】　つくば市宅地造成及び特定盛土等規制法関係手数料条例について	原案可決
【議案第 111 号】　つくば市ふるさと創生基金条例を廃止する条例について	原案可決
【議案第 112 号】　茨城消防救急無線・指令センター運営協議会を組織する構成団体の数の増加及び茨城消防救急無線・指令センター運営協議会規約の変更について	原案可決
【議案第 113 号】　市道路線の認定について	原案可決
【議案第 114 号】　財産の取得について	原案可決
【議案第 115 号】　つくば市副市長の選任について	同意
【議案第 116 号】　訴えの提起について	原案可決
【議案第 117 号】　令和 6 年度つくば市一般会計補正予算（第 9 号）	原案可決
【議案第 118 号】　つくば市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
【議案第 119 号】　つくば市税条例の一部を改正する条例について	原案可決
【議案第 120 号】　つくば市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
【議案第 121 号】　つくば市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
【議案第 122 号】　財産の取得について	原案可決
【議案第 123 号】　作岡財産区管理委員の選任について	同意
【議案第 124 号】　つくば市立保育所条例の一部を改正する条例について	原案可決
【議案第 125 号】　令和 6 年度つくば市一般会計補正予算（第 10 号）	原案可決
【議案第 126 号】　つくば市副市長の選任について	同意
【議案第 127 号】　つくば市等公平委員会委員の選任について	同意
【議案第 128 号】　つくば市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
【議案第 129 号】　つくば市政治倫理審査会委員の任命について	同意
【議案第 130 号】　つくば市政治倫理審査会委員の任命について	同意
【議案第 131 号】　つくば市政治倫理審査会委員の任命について	同意
【議案第 132 号】　つくば市政治倫理審査会委員の任命について	同意
【議案第 133 号】　つくば市政治倫理審査会委員の任命について	同意
【議案第 134 号】　つくば市政治倫理審査会委員の任命について	同意
【議案第 135 号】　つくば市政治倫理審査会委員の任命について	同意
【諮問第 2 号】　人権擁護委員候補者の推薦について	適任
【諮問第 3 号】　人権擁護委員候補者の推薦について	適任
【諮問第 4 号】　人権擁護委員候補者の推薦について	適任

委員会提出議案	議決結果
【委第 7 号議案】　つくば市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決

意　見　書	議決結果
【意見書案第 7 号】　医薬品や医療機器の安定供給確保並びにイノベーション推進を求める意見書	原案可決
【意見書案第 8 号】　保育所や幼稚園、小中学校、高校、特別支援学校、福祉施設における救急時の選定療養費徴収の運用状況について検証を求める意見書	原案可決

※以下の議案 1 件は、撤回されました。
【議案第 97 号】つくば市立保育所条例の一部を改正する条例について

※以下の請願は審査を継続することになりました。
【請願 6 第 9 号】つくば市生活保護業務の適正化を求める請願書

議案の審議状況と議決結果　請願一覧　意見書・決議一覧

詳細は QR コード参照

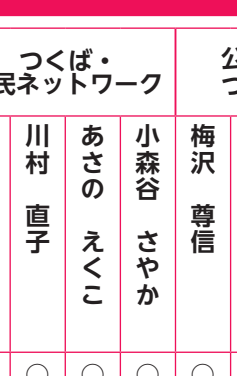
令和6年第2回定例会　令和7年2月定例会議議員賛否一覧

議案等番号	つくばクラブ								Next つくば							つくば・市民ネットワーク				公明党つくば			縁	ワ	新	つ	日	創
	伊藤 文弥	小村 政文	黒田 健祐 議長	神谷 大蔵	小久保 貴史	五頭 泰誠	木村 清隆	塩田 尚	田代 優	市原 琢己	樋口 裕大	中村 重雄	木村 修寿	塚本 洋二	飯岡 宏之	川田 青星	川村 直子	あさの えくこ	小森谷 さやか	梅沢 尊信	篠内 幸代	渡辺 峰子	榊原 アリーゼ	青木 真矢	酒井 泉	川久保 皆実	山中 真弓	高野 文男
議案第80号	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○
議案第85号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
議案第86号	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○
議案第87号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第88号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第91号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第92号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
議案第93号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
議案第96号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第100号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第103号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第107号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第115号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	退	欠
議案第116号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第118号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○
議案第119号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第123号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第124号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
議案第126号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○
委第7号議案	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠

※　賛否が分かれたもの、
※「○」は賛成、「×」は反対、「退」は退席、「欠」は欠席。議長は可否同数の場合または特別多数議決の場合以外は表決に加わらない。
※　会派名（議席番号順）　縁＝縁粋会　ワ＝ワニナルつくば　新＝新・つくば民主主義の会　つ＝つくばチェンジチャレンジ
　　日＝日本共産党つくば　創＝創生クラブ
※　議決日に欠席した議員　2月13日：中村 重雄 議員　高野 文男 議員　2月14日：市原 琢己 議員　高野 文男 議員
　　3月5日：榊原 アリーゼ 議員　中村 重雄 議員

令和6年第2回定例会 令和7年1月緊急会議

令和7年（2025年）1月16日に開催し、市長提出議案1件を審議しました。



議案の審議状況と議決結果

【議案第79号】つくば市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について　原案可決

質疑、討論はなし。

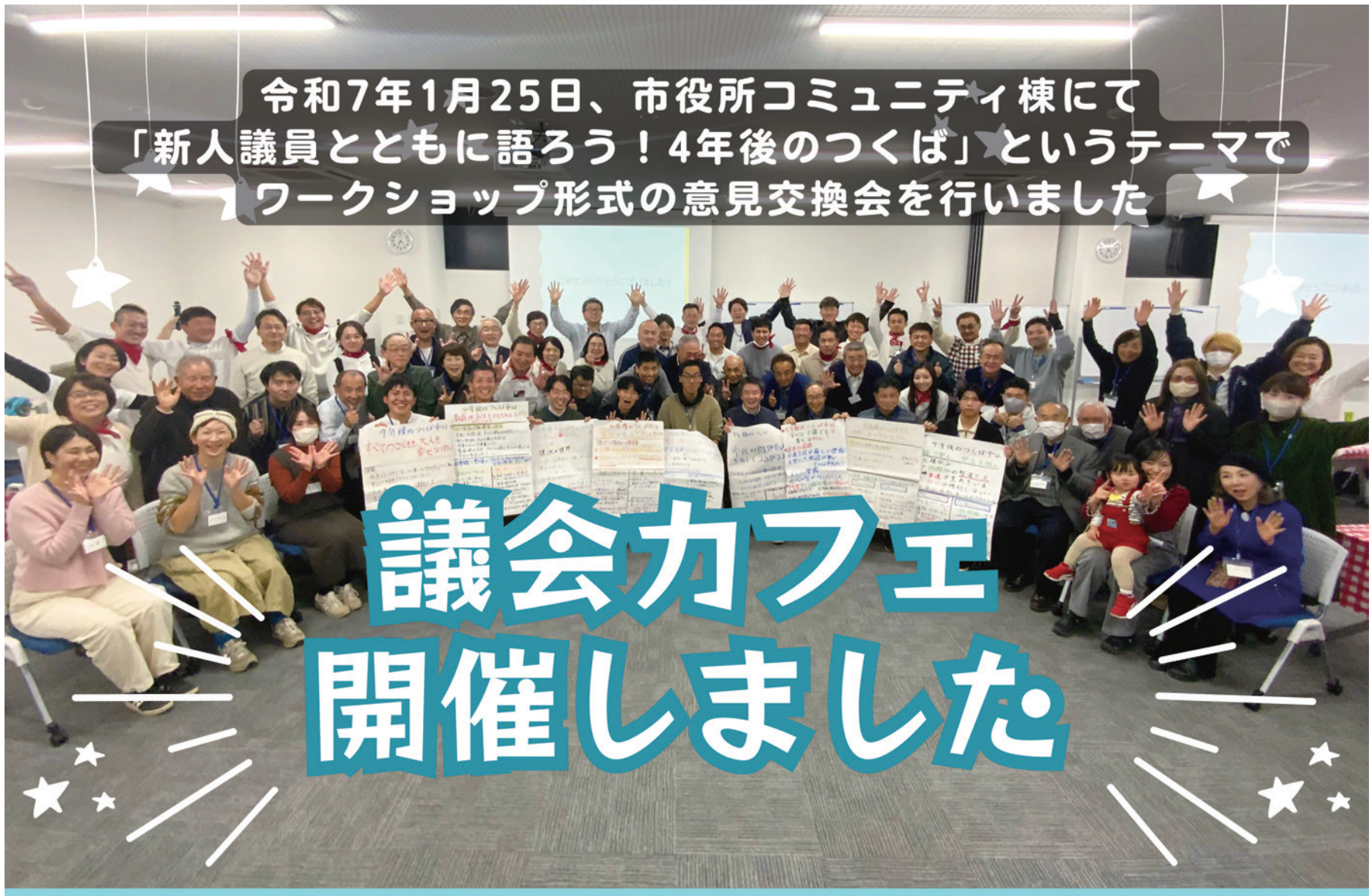
令和6年第2回定例会 令和7年1月緊急会議議案等議決結果一覧

報告案件	
【報告第47号】　専決処分事項の報告について	
案件名	**議決結果**
【議案第79号】　つくば市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決

令和6年第2回定例会　令和7年1月緊急会議議員賛否一覧

議案等番号	つくばクラブ								Next つくば							つくば・市民ネットワーク				公明党つくば			縁	ワ	新	つ	日	創
	伊藤 文弥	小村 政文	黒田 健祐 議長	神谷 大蔵	小久保 貴史	五頭 泰誠	木村 清隆	塩田 尚	田代 優	市原 琢己	樋口 裕大	中村 重雄	木村 修寿	塚本 洋二	飯岡 宏之	川田 青星	川村 直子	あさの えくこ	小森谷 さやか	梅沢 尊信	篠内 幸代	渡辺 峰子	榊原 アリーゼ	青木 真矢	酒井 泉	川久保 皆実	山中 真弓	高野 文男
議案第79号	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席。議長は可否同数の場合または特別多数議決の場合以外は表決に加わらない。
※　会派名（議席番号順）　縁＝縁粋会　ワ＝ワニナルつくば　新＝新・つくば民主主義の会　つ＝つくばチェンジチャレンジ
　　日＝日本共産党つくば　創＝創生クラブ
※　議決日に欠席した議員　塚本　洋二　議員



議会カフェ開催しました

市民と議員でワークショップ

9チームに分かれて
アイデアを出し合いました

アイデアをまとめ
チームごとに成果発表

皆さんからいただいたアイデアは…

各チームに作成いただいた「まとめシート」の内容を報告書に集約し、令和7年2月28日に五十嵐市長及び市議会の4常任委員長に提出しました。

その後どうする？

各常任委員会において、報告書の内容をふまえ視察先や集中審議事項の選定、所管事務調査の実施等を検討し、その結果を令和７年度の議会報告動画でご報告します。

詳しくは市議会HPをご覧ください！

当日の様子、「まとめシート」の内容、実施報告動画、報告書の内容等を公開しています。

次回「第 187 号」は令和 7 年（2025 年）8 月 20 日（水）に発行の予定です。　リサイクル適性Ⓐ　この市議会だよりは、印刷用の紙へリサイクルできます。